

みんなの健康ラジオ

『円形脱毛症・男性型脱毛症・抜毛症』

(2018年2月7日放送)

横浜市皮膚科医会

横浜労災病院

齊藤典充

円形脱毛症とは

<定義>

原因不明の後天性の脱毛症であり、頭部をはじめ全身の毛髪のあるあらゆる部分に発症しうる。突然に脱毛をきたし、円形の脱毛斑を生じる。

<分類>

- 通常:alopecia areata common type
 - 単発型
 - 多発型
- 全頭型:alopecia totalis
- 汎発型:alopecia universalis
- 蛇行型:alopecia ophiasis

円形脱毛症の発症機序

- 遺伝的素因

親子間で**10%**程度の遺伝がある。

一卵性双生児では片方の児が円形脱毛症を発症するともう一方の児も発症する。

- アレルギー説

円形脱毛症の患者さんにアトピー性皮膚炎・花粉症・気管支喘息を合併する確率は家族も含めると**50%**程度である。

- 精神的ストレス説

ストレスをきっかけに発症する患者さんがいる。

- 自己免疫説

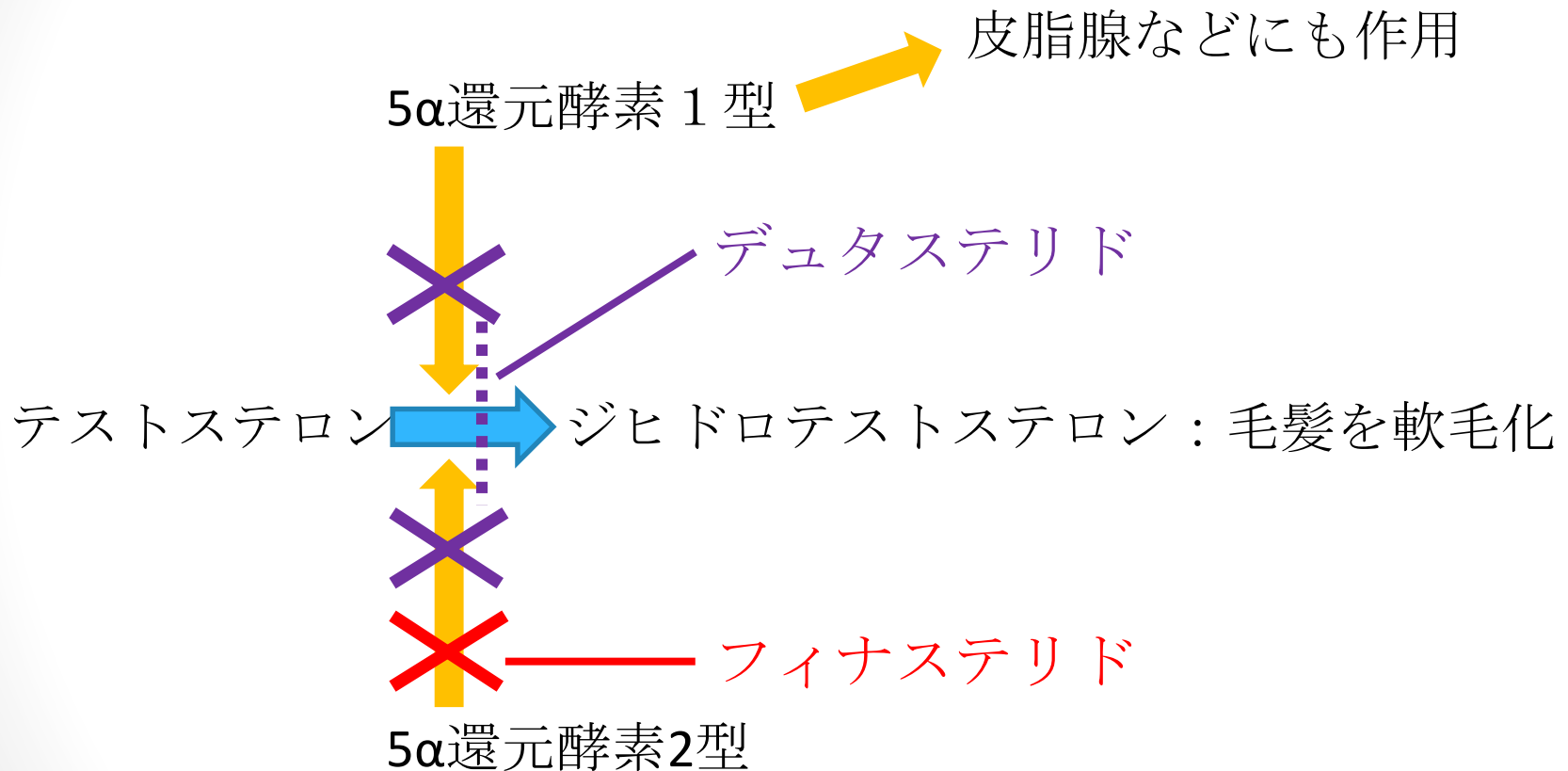
近年この説が最も有力。

毛髪に対して免疫反応が働き、毛包が障害される。

男性型脱毛症とは

- 男性型脱毛（症）は、壮年性脱毛とも呼ばれる（Androgenetic alopecia, Male pattern hair loss）
- 思春期以降に始まり、徐々に進行する
- 男性の前頭部と頭頂部の頭髪が薄くなり、最終的には後頭部と側頭部を除いて脱毛が進行する
- 硬毛の軟毛化が引き起こされる（毛が細く短くなる）

男性型脱毛症の発症機序 と内服薬の作用機序



抜毛症とは

- 1989年にフランスの皮膚科医Hallopeauによって名づけられた疾患で、抗しがたい衝動により、自ら毛髪を引き抜くことで、脱毛病巣を生じる疾患である
- 小学生から中学生にかけての学童期の発症が多く、性差は女性に多いとされている。また家族内発症も報告されている。女性に多い理由としては、髪への毛に対する関心や執着が強いため、あるいは女性化拒否の表れであると考えられている。
- ストレスが誘因となり、その原因の半数は学校などでの教師や友人との人間関係、残る半数は家庭内での親子や兄弟関係にあると言われている。